

「旧都営角筈アパート跡地に
関するアンケート」の報告です!



前々回からお伝えしている旧都営角筈アパート跡地に関するアンケートについてのご報告です!今回は、653人の方からいただいたアンケートの結果の中身を紙面の許す限りご紹介いたします。

①住宅展示場をなお継続の要望は、「どちらかといえば賛成」を含めた賛成意見は30.6%、「どちらかといえば反対」を含めた反対意見は57.1%となりました。また、②民間企業への売却の要望は、「どちらかといえば反対」を含めた反対との回答は78.9%となりました。なお、③どのような利用方法を望むかという質問に対しては、「地域住民のセンター」「交流できる複合施設」「高齢者福祉施設」といった**公共施設を望む声**が多く見受けられました。この結果は、この地域に世代を超えた交流の場がないことの現れであると同時に、地域コミュニティの維持・発展を望む声であり、将来の高齢化社会もこの地域に住み続けたいという住民の意思表示と考えられます。



上記のような内容を含む要望書を東京都と新宿区に提出したところ、新宿区からは、『旧都営角筈アパート跡地を取得する予定はなく、まずは区として既に所有している土地を有効活用し、地域の需要に合ったものへの転換をするように考えており、旧都営角筈アパートについては、土地を所有している東京都による地域の意向を反映した地域交流スペースのような施設ができれば良いと考えている。』といった内容の回答を得ました。

今後も、旧都営角筈アパート跡地利用に関する動向を報告していきますので、要望書や新宿区からの回答をご覧になりたい方は、新宿駅周辺地区協議会 事務局までご連絡ください。

コラム
6

特集「角筈の今と昔」いかがでしたでしょうか。懐かしく読まれた方もいらっしやっただのではないのでしょうか。世はまさにスピード時代、10年もたてばあらゆるものが進化し、めまぐるしく変化していきます。そのスピードがますます加速しているようにも思います。そのうちタイムマシンなるものも開発されて、過去に旅することができたなら、新宿の空でヒバリがさえずる、のどかな田園風景が見てみたいとも思うのですが……。
K・E

～今こそ団結力を～

編集後記

3・11日本列島が沈没するような、想像を絶する大規模な地震が起き大惨事となりました。新聞も連日号外のような報道が続き、原発では放射能が漏れ心配な日々を過ごしております。被災地に心からのお見舞いを申し上げます。私共に今何ができるか、知恵を出し合い支え合って行きたいと思っております。
わいわい地域交流編集長 武田 春子

「わいわい地域交流!」の紙面づくりにご意見・ご感想のある方、情報を掲載したい方、紙面づくりに参加したい方、大歓迎です!ご連絡をお待ちしております。次回も地域に密着した話題の予定です。情報をお持ちの方はぜひご連絡下さい。お待ちしております!! 次回の発行は7月の予定です。

【連絡先・発行元】

新宿駅周辺地区協議会 「わいわい地域交流編集部」事務局 (角筈特別出張所内)
TEL: 03-3377-4381 FAX: 03-5350-2868
E-MAIL: tsunohazu@city.shinjuku.lg.jp
HP: http://www.city.shinjuku.lg.jp/soshiki/262200tsunohazu_01.html



わいわい地域交流!

東京の中心、都庁のとなり、都会のオアシス
私たち地域住民のコミュニケーションをここから発信しよう!!

まちの記憶 今と昔 水のまちからビルのまちへ



◆まちの記憶 今と昔

坂と路地裏 / 学校・子ども / 水道道路・出張所 / 都庁空地・浄水場
福羽イチゴを知っていますか? / 十二社地界隈の賑わい

◆地区協・あれこれ

◆イベント情報

まちの記憶 今と昔 水のまちからビルのまちへ

坂と路地裏



昭和6年ごろの十二社の池 #2

今でもこんな路地があります



振り返るとこんな感じです



西新宿は坂のまちでもあります



路地に入ると、こんなんびりした風景に出会えます

学校・子ども



昔は一学年にたくさんの生徒がいました。(旧淀橋第六小学校) #6



平成22年度の西新宿小学校6年生の集合写真 #7



西新宿小学校の通学路

水道道路・出張所



昭和28年9月9日の角筈特別出張所の写真です #3

同じ場所から撮った写真です



交流の原点、角筈特別出張所は1階です



玉川上水 新水路 #4 (昭和20年代)



水道道路の起点 一号橋昔は橋がかかっていました

現在の水道道路

都庁空地・浄水場



ガスタンクと浄水場が一望できます (昭和38年ごろ) #5



ここから中央公園へつながっています



都庁にはたくさんのオブジェがあります



現在の西新宿の風景



浄水場に使われていた煉瓦が飛び石になっています



浄水場時代のものについての説明もあります



都庁の通路とオブジェ

福羽イチゴを知っていますか? —島明弘さんに伺う—



島明弘さん

角筈特別出張所前の水道道路はかつて淀橋浄水場へ続く水路で、地域の方たちに「水道」と呼ばれ親しまれていた。その水路には「一号橋」「二号橋」……と呼ばれた橋があったそうだが、今では橋の面影はない。また、水路には70~80cmもある大きな黒い鯉が泳いでいて、それを浄水場の終点あたりで水道局の人がすくっていた光景の事など、たくさんの楽しいお話を伺った。

その中でも一番驚いたことは、この地域には日本のイチゴの元祖を育てた人が

住んでいたことである。この人の名をとって「福羽イチゴ」という名で栽培され、最初の頃は皇室に献上される特別な果物だったそうだ。このイチゴを改良し、庶民の口にも入るようになったとのこと。「女峰」「とよのか」を始め、今の日本の多くのイチゴは、この福羽イチゴのDNAを受け継いでいるのだ。この様なすごいイチゴにかかわっていた人が西新宿に住んでいたことに驚くとともに、この「福羽イチゴ」を新宿駅周辺地区協議会で復活できたら素晴らしいなと思った。

このあたりで福羽イチゴが栽培されていました。



十二社池界隈の賑わい (昭和10年頃) —古田末彌さんに伺う—



古田末彌さん

地元で育った古田さんが小学生のころ、今の三省堂ビル南より大納言さんのお店の前あたりまで、大小の十二社池があった。今のような十二社通りではなく、現在のバイク屋さんの角を南に折れ、池沿いに通りが続いていた。そして、現在のバイク屋さんの裏に位置するところに「見番」があり、その裏手には「髪結い屋」が、さらに奥の原っぱには小屋があり、そこには料亭が軒を連ねており、夕方になると芸者さんや方々からのお客さんでにぎわっていたそうだ。ちなみに芦田内閣の会にも使われていたそうである。「見番」というのは、お客の連絡を受け、芸者さんの手配を「置屋さん」

をお願いしたりするところ、そばには、人力車の車夫や、芸者さんの三味線をお座敷に届ける「箱屋」さんも控えていたそうだ。当時、青梅街道や甲州街道には「エンタク」(一元タクシー)が走っていたが、街道までの道が狭いため、芸者さんは人力車を利用していただいていたということである。

夜は端歌や三味線の音が聞こえる華やかな十二社池沿いの道も、朝にはとても静かな通学路となって元気な子供たちの声が響き、その道の先にある淀橋第六小学校(今の西新宿小学校)の向こう側の牧場からは、牛の鳴き声が校舎に響いていたということである。